DocuSign Bot

ユーザーリスト Excel の作成

© HelpSystems LLC. All rights reserved.
All trademarks and registered trademarks are the property of their respective owners.

目次

概要 3
必要条件 4
AutoMate タスクのインポート方法 7
「DocuSign - ユーザーリスト Excel の作成」の実行方法 8
付録 A –EXCEL の出力結果と DOCUSIGN USERS ビューの結果 11
付録 B –トラブルシューティング 12

概要

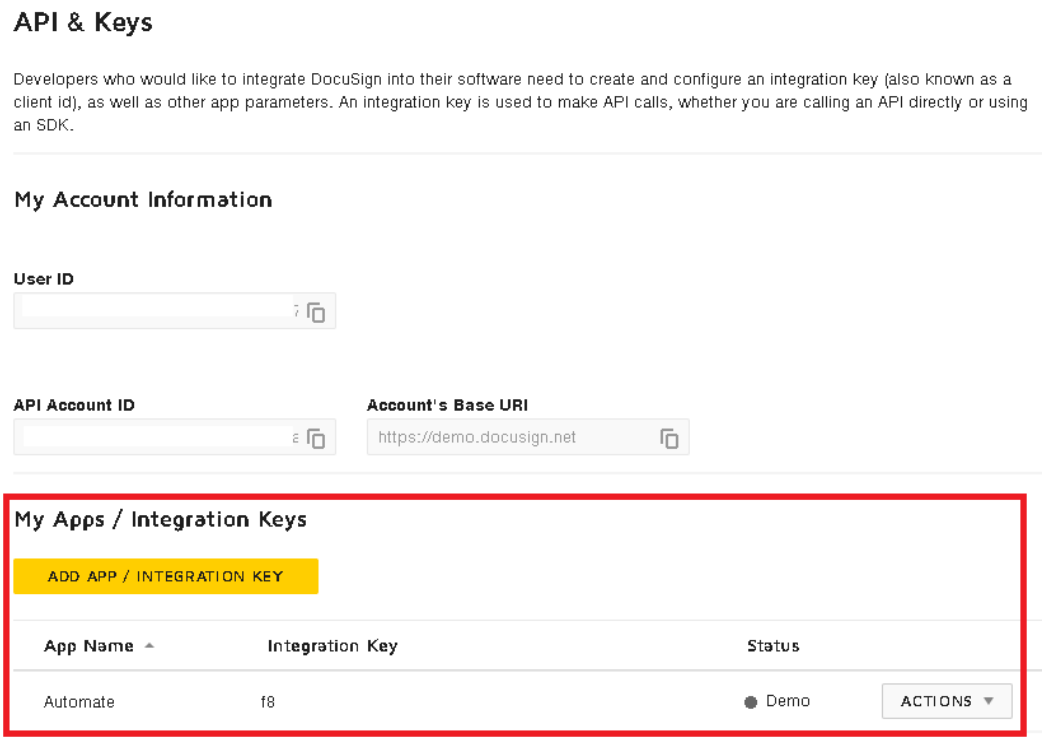
この How to ガイドでは、「DocuSign - ユーザーリスト Excel の作成」をご紹介します。繰り返しの多い手作業に貴重な時間とリソースを費やす代わりに AutoMate に任せて、RPA による自動化で IT とビジネスプロセスを合理化しましょう。AutoMate の支援により、ボットが手作業を代行することで反復作業を大幅に減らし、作業の品質と一貫性を向上させることができます。自動化されている主なプロセスは、レポート作成、ファイル移動、データのインポートとエクスポート、バッチ処理のスケジューリングです。

「DocuSign - ユーザーリスト Excel の作成」は、DocuSign eSignature REST API をベースにしています。これは、DocuSign で管理している特定のアカウントに関連するユーザーをリストアップするもので、**「/accounts/ {accountId}/users」**HTTP GET メソッドを実行し、実行結果の一覧をタスクフォルダに Excel ファイルとして作成します。このボットは、ユーザー名とパスワードの使用はせず、API トークンによる認証方式を採用しています。トークンは、認証のスコープに使用するアカウントに関連付けられますので、アカウントごとにボットが必要になる場合があります。詳細な情報を得るために、「前提条件」と「DocuSign - ユーザーリスト Excel の作成」のセクションをよく確認してください。

また、「DocuSign - トークンの生成と更新」があり、このボットが動作するためのトークンの最初の作成と更新のための簡単な方法を提供することになります。デフォルトでは、トークンは8時間が有効期限です。このボットは、OAuth Authorization Code Workflow に基づいています。

必要条件

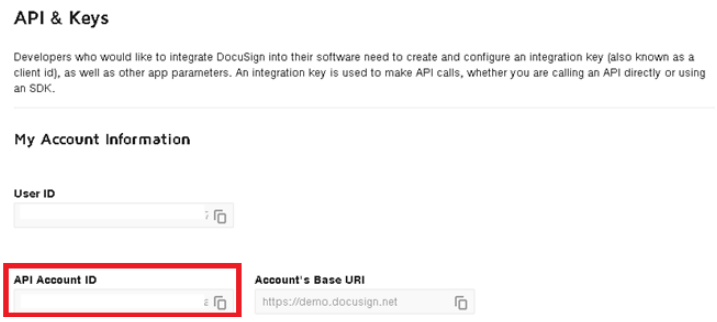
- AutoMate: DocuSign ボットは動作に AutoMate を必要とします。最低限サポートされているバージョンが以下の通りです:
    - AutoMate Ultimate 11.2
    - AutoMate Plus 11.2
    - AutoMate Desktop 11.2
- AutoMate Markup Language file (.AML): DocuSign ボットタスクのステップを含む AutoMate で使用される主要なファイル形式
- DocuSign: 最低限必要なものは以下の通りです。
    - DocuSign eSignature で作成された統合のためのアプリケーション: トークン作成のための適切なスコープとリクエストを設定し、他の DocuSign Bots の接続に使用できるようにするには、DocuSign プラットフォーム内にアプリケーションを作成する必要があります。ADMIN エリア > INTEGRATIONS > API and Keys セクションで確認することができます。



管理者（DS Admin）である必要がありますので、権限がない場合は、DocuSign の管理者にご確認ください。アプリの作成方法の詳細については こちらをご覧ください。

- ボット実行のための適切なパーミッション・スコープで生成された DocuSign トークン: アプリケーションが作成され、設定されると、接続用のトークンを生成できるようになります。このトークンは、適切なパーミッション・スコープで生成する必要があります。このボットを動作させるには、次のスコープが必要です：**signature** と **offline_acces**。 **署名**スコープは、アカウント管理、作成、送信、一覧表示、封筒、テンプレート、その他のオブジェクトなど、eSignature REST API のすべてのメソッドに必要です。**offline_acces** は、オフラインでリクエストを実行できるようにするためのものです（bot の動作に必要）。トークンの生成には様々な OAuth Workflow がありますが、**DocuSign OAuth Authorization Code Workflow** をベースにした「**DocuSign - トークンの生成と更新**」も提供していますので、そちらを利用することもできます。また、このワークフローを説明したユーザーガイドもあります。

- DocuSign API アカウント ID: この ID は、DocuSign アカウント（Platform）に関連付けられたものです。ADMIN エリア > INTEGRATIONS > API and Keys セクションに移動して取得することができます。



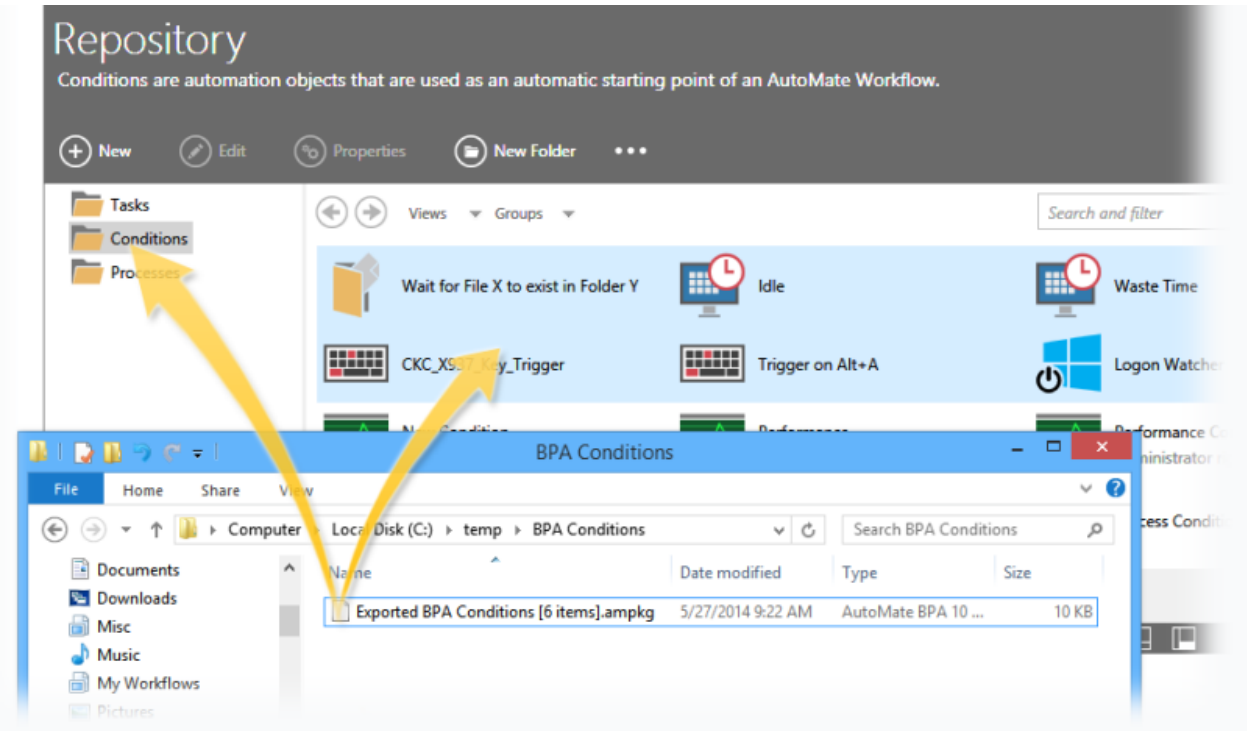
- DocuSign eSignature API バージョン: このボットは DocuSign eSignature API v2.1を使用して作成されています。
- DocuSign の接続値を設定するために作成される AutoMate 定数:
  - DocuSignURL: 各プラットフォームでの DocuSign URL :
    - *デモ用プラットフォーム: https://demo.docusign.net*
    - *製品用プラットフォーム: https://{server}.docusign.net/*

AutoMate タスクのインポート方法

互換性のあるファイル形式は、ドラッグ&ドロップでレポジトリに取り込むことができます。

サーバー管理コンソールから[レポジトリ]セクションに移動します。

目的のファイルを元の場所からドラッグして、SMC 内のフォルダにドロップします。ファイルは、フォルダーアイコンまたはメインパネルにドロップすることができます（下図参照）。インポートされたオブジェクトは、自動的に対応するリポジトリの場所に配置されます。

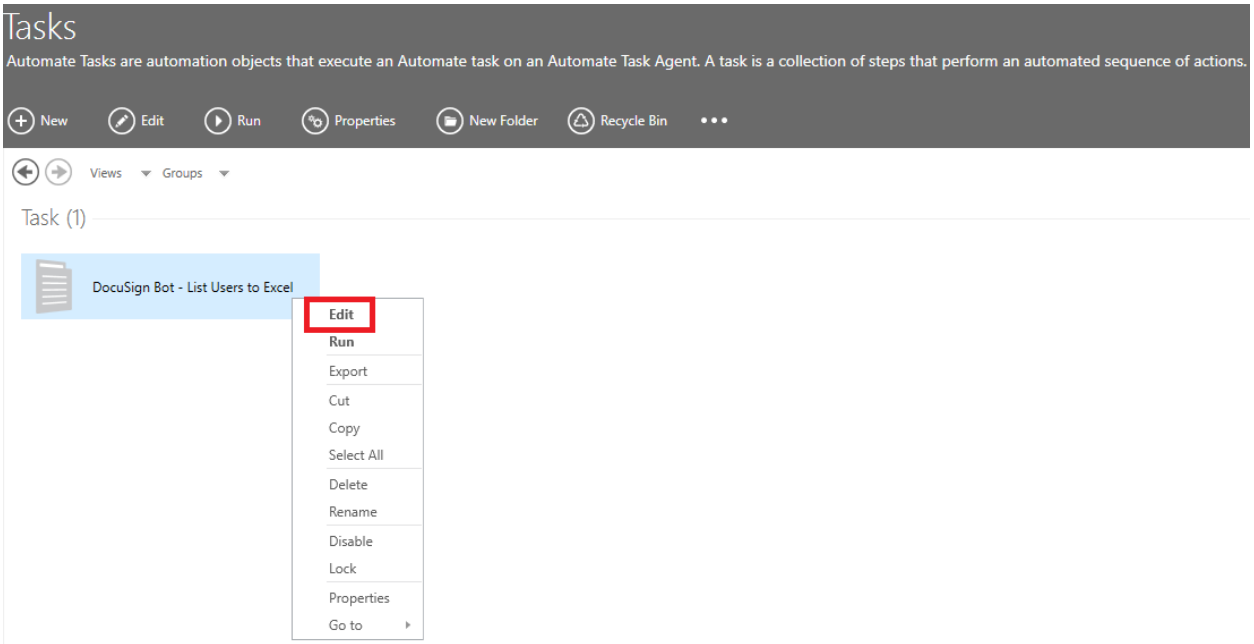


「DocuSign - ユーザーリスト Excel の作成」の実行方法

このタスクを初めて実行する場合、いくつかのパラメータを設定する必要があります。

サーバー管理コンソールを開き、インポートしたタスクを探します。

インポートしたタスクを右クリックし、「編集」を選択して編集します。



ステップ2からは、次の変数をご希望の出力に合わせて編集してください。

- var_AccountID: ユーザーを関連付けるアカウント ID を設定します。この変数は、ユーザーを管理するユーザーアカウントの ID となります。
- var_UserMembershipStatus: ユーザーのメンバーシップの状態を設定します。設定可能な値 ActivationRequired、ActivationSent、Active、Closed、Disabled。
- var_DocuSignToken: 接続用トークン（String）またはトークン情報のあるファイルのパスを設定します。トークンは、接続するアカウントに関連付けられることを留意してください。DocuSign 接続/リクエストを実行するためのトークンです。トークンの値そのもの、またはトークン情報が格納された.txt ファイルがあるパスを設定することができます。

  例: ***C:\Automate\DocuSignToken.txt***

.txt ファイルを使用する場合、トークンは次のような形式/構造でなければなりません:

access_token:TokenString

ファイルの例:

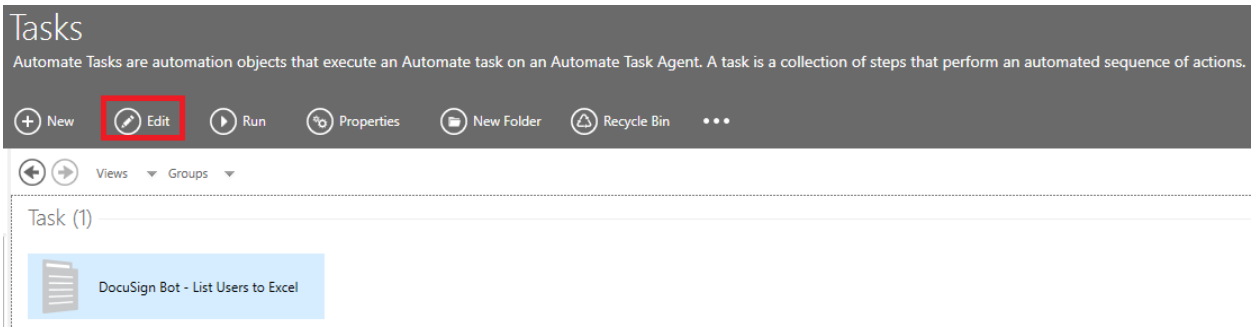
refresh_token の値がありますが、これは DocuSign Bot - Generate and Refresh Token で管理されていることに留意してください

出力ファイルは、次のフィールドを持つタスクフォルダに自動的に生成されます。:

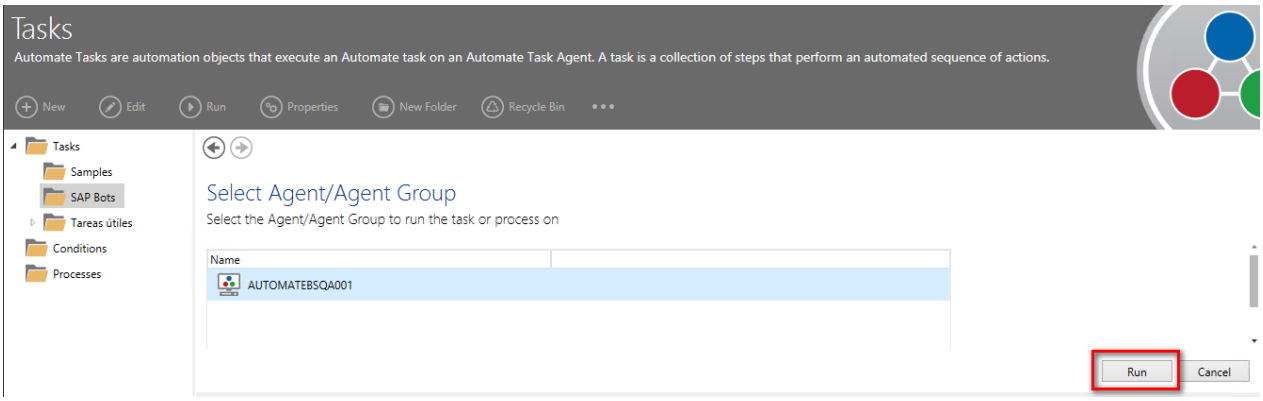
userId, userName, firstName, lastName, email, jobTitle, company, userType, isAdmin, userStatus, uri, createdDateTime, userAddedToAccountDateTime, permissionProfileId, permissionProfileName and Account ID.

タスクを保存して閉じる

タスクを選択し、「実行」をクリック

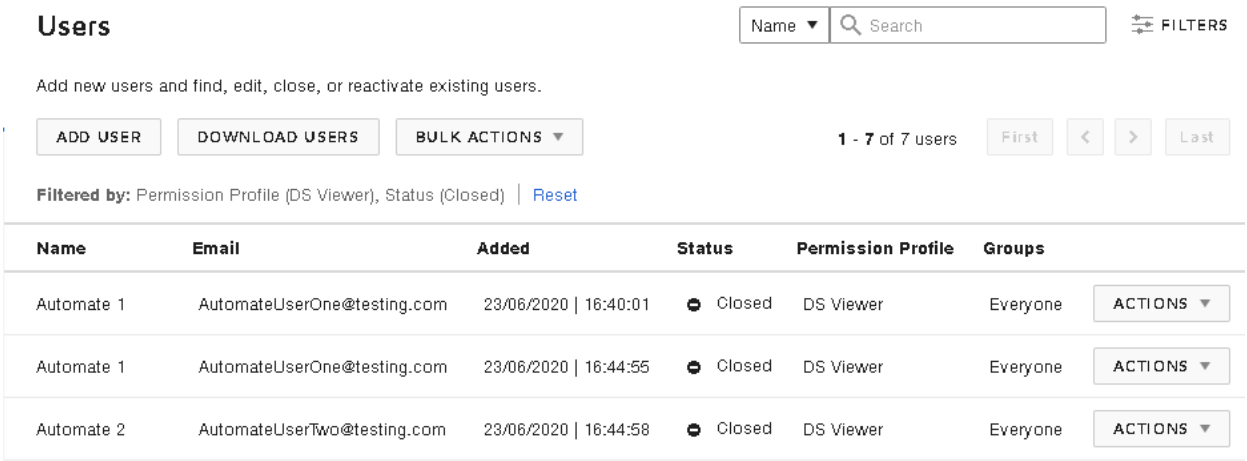


エージェントを選択し、再度「実行」をクリックします。



付録 A –EXCEL の出力結果 と DOCUSIGN USERS ビューの結果

DocuSign Users ビュー:



Excel の出力結果:

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	userId	userName	firstName	lastName	email	jobTitle	company	userType	isAdmin	userStatus	uri
2	ad395965-677c-4985-bfaf-9760e2cd1a37	Automate 3	AutomateUser	Three	AutomateUserThree@testing.com		Personal	CompanyUser	False	Closed	/users/ad395965-677c-4985-bfaf-9760e2cd1a37
3	0b19e20e-bc5d-4d5e-b7f7-f73f6f04735d	Automate 1	AutomateUser	One	AutomateUserOne@testing.com		Personal	CompanyUser	False	ActivationSent	/users/0b19e20e-bc5d-4d5e-b7f7-f73f6f04735d
4	90f7c3eb-67aa-4979-af0a-67e171d0b7e7	Automate 1	AutomateUser	One	AutomateUserOne@testing.com		Personal	CompanyUser	False	Closed	/users/90f7c3eb-67aa-4979-af0a-67e171d0b7e7

L	M	N	O	P
createdDateTime	userAddedToAccountDateTime	permissionProfileId	permissionProfileName	Account ID
2020-06-23T19:45:01.7430000Z	2020-06-23T19:45:01.7430000Z	10482819	DocuSign Viewer	c90d482c-2a86-41a7-8571-405444ea7057
2020-06-23T19:44:55.3230000Z	2020-06-23T19:44:55.3230000Z	10482819	DocuSign Viewer	c90d482c-2a86-41a7-8571-405444ea7057
2020-06-23T19:40:01.9200000Z	2020-06-23T19:40:01.9200000Z	10482819	DocuSign Viewer	c90d482c-2a86-41a7-8571-405444ea7057

DocuSignUsers_25062020_095537.xlsx

ファイル名のパターン:

DocuSignUsers_	ユーザー名
25062020	実行日 (ddMMyyyy)
095537	実行時刻(Hmmss)

注: 出力ファイルはタスクフォルダに作成されます: C:\Automate\Tasks\<<TASK NAME>>.

付録 B–トラブルシューティング

- ログ: 実行毎に、トラブルシューティングのためボットはログファイルを作成します。 ログファイルはC:\Automate\Tasks\<<TASK NAME>>に保存されます。デフォルトでは、タスク名は *DocuSign Bot - List Users to Excel* です。

www.helpsystems.com

About HelpSystems
Organizations around the world rely on HelpSystems to make IT lives easier and keep business running smoothly. Our software and services monitor and AutoMate processes, encrypt and secure data, and provide easy access to the information people